

日本学生支援機構

貸与奨学金

採用時説明資料

1. 奨学生証

2. 貸与奨学生のしおり(ダイジェスト版)

3. 返還誓約書 (兼個人情報情報の取扱いに関する同意書)

● 保証依頼書・保証料支払依頼書

【機関保証制度選択者のみ】

※ 「貸与奨学生のしおり(全体版)」は日本学生支援機構のホームページに掲載しています。必ず確認するようにしてください。



<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/siori/index.html>

- **貸与奨学生としての心構え**
- **知ってほしいこと**
- **返還誓約書の作成方法**



貸与奨学生のしおり
(ダイジェスト版) 1ページ
(全体版) 4ページ

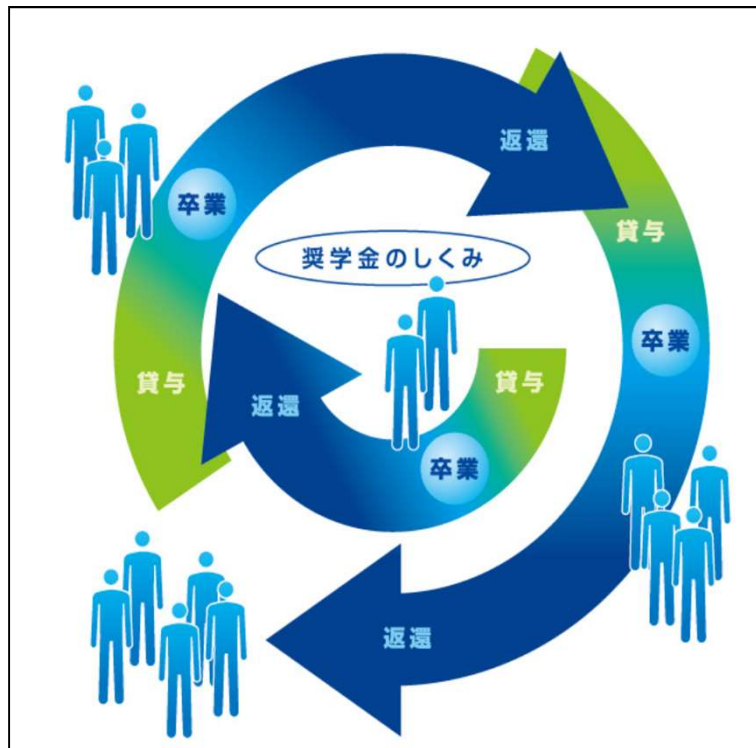
- (1) 奨学金制度について、十分に理解してください。**
- (2) 学校から奨学金の説明を受け、貸与中の手続きなど、学校の指示を守ってください。**
- (3) 奨学生としての自覚と責任を持って、勉学に励んでください。**

知ってほしいこと

1. 奨学金制度



貸与奨学生のしおり
(ダイジェスト版) 1ページ
(全体版) 4～5ページ



- 日本学生支援機構の貸与奨学金は、**借りるもの**です。
- 奨学金を借りるのも、返すのも皆さん自身です。
- **借り過ぎに注意**してください。

2. 奨学金の説明会

説明会の実施は未定です。実施する場合は、HPにてご連絡します。

適格認定説明会（毎年12月～2月頃）

返還説明会（卒業年度の10月～12月頃）

※実施方法や日時の連絡に注意してください。

3. 連絡が必要なとき

以下の事由が発生した場合、必ず学校に連絡してください。

※手続きを行う場合は、提出期限があります。

<input type="checkbox"/> 改氏名	<input type="checkbox"/> 振込口座の変更
<input type="checkbox"/> 退学	<input type="checkbox"/> 貸与月額の変更（増額・減額）
<input type="checkbox"/> 休学・復学	<input type="checkbox"/> 利率の算定方法の変更（第二種のみ）
<input type="checkbox"/> 留学	<input type="checkbox"/> 返還方式の変更（第一種のみ）
<input type="checkbox"/> 転学・編入学	<input type="checkbox"/> 連帯保証人・保証人の変更 （住所変更等含む）
<input type="checkbox"/> 転学部（科）	<input type="checkbox"/> 機関保証制度への変更（機関保証制度から 人的保証制度への変更はできません。）



貸与奨学生のしおり

（ダイジェスト版）3ページ

（全体版）2ページ、8ページ、12ページ、14ページ、47～58ページ

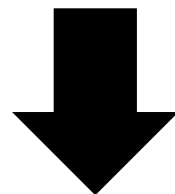
4. 奨学金の返還の流れ



貸与奨学生のしおり
(全体版) 73~74ページ

奨学金の返還は、金融機関の口座からの振替（引落し）により行います。

「スカラネット・パーソナル」又は「口座振替（リレー口座）加入申込書」（金融機関の窓口へ提出）により、振替用口座（リレー口座）の加入手続きを実施



貸与終了の翌月から数えて7か月目の27日から返還開始

※2025年3月卒業の場合、
2025年10月より返還開始

5. 返還が困難となったときの救済制度

奨学金の返還が困難な場合、救済制度があります。



貸与奨学生のしおり
(ダイジェスト版) 3ページ
(全体版) 3ページ、79～81ページ

(1) 在学猶予：在学している期間、返還する期限を先延ばしにする制度

(2) 減額返還：月々に返還する金額を $2/3$ 、 $1/2$ 、 $1/3$ 又は $1/4$ に減額し、
減額返還適用期間に応じた分の返還期間を延長して返還する制度

(3) 返還期限猶予：返還が困難になったときに、返還する期限を先延ばしにする制度

(1) 在学猶予は、在籍する学校に相談

(2) 減額返還や (3) 返還期限猶予は、日本学生支援機構に相談

6. 延滞したとき



貸与奨学生のしおり
(全体版) 7~8ページ、81ページ

- 延滞金の賦課
- 保証機関からの督促（機関保証）
- 連帯保証人・保証人への督促（人的保証）
- 個人信用情報機関への登録
- 裁判所への法的手続き

など

延滞する前に、必ず、日本学生支援機構に相談してください。



スカラネット・パーソナル（スカラPS）とは



貸与奨学生のしおり
(ダイジェスト版) 2ページ
(全体版) 86~87ページ

奨学金情報を確認したり、各種届出などの手続きができます。
「奨学金継続願」の提出もスカラPSを通じて行います。

在学猶予願の提出を忘れていませんか？

スカラネット・パーソナルから手続きをしてください

スカラネット・パーソナルから手続きができます

スカラネット・パーソナルへようこそ

- 住所変更・改姓・勤務先変更
- 繰上返還/在学猶予
- 返還情報照会(残額・残回数)

ご自身で手続きできます！

スカラネット・パーソナル

返還中の方・返還が始まる方へ

転居の際は住所変更の手続きを忘れずに！

転居の際は住所変更の手続きを忘れずに

独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization

スカラネット・パーソナル

スカラネット・パーソナルへようこそ (スカラネットPS)

スカラネット・パーソナルの登録について

- ご利用には各個人でアカウントの新規登録が必要です。奨学金の申込み時や進学希望届出時のスカラネットとは異なります。
- 現在、奨学金を貸与・給付・返還中の方はいつでもスカラネット・パーソナルに登録できます。

スカラネット・パーソナルを活用すると

- 転居・改姓・勤務先変更等の届出ができます。
- 繰上返還の申込ができます。
- 在学猶予願・在学猶予期間短縮願の提出ができます。
- 各種証明書の発行依頼ができます。
- あなたの奨学金情報の閲覧・確認ができます。
- 奨学金減額返還願・奨学金返還期限猶予願の作成・印刷ができます。
- 体験者サイトについて
- スカラPSに関する質問

平成31年4月より新たに追加された機能

- 最低返還月額申請 (所得連動返還方式選択者) ができます。

ログイン・新規登録は、下の「ログイン・新規登録」ボタンを押してください。
(ユーザID・パスワードを忘れた方も下の「ログイン・新規登録」)

スカラネットPSの登録手順・利用条件の詳細は、下の「登録手順・利用条件」ボタンを押してください。

スカラネットPSの利用規約は、下の「利用規約」ボタンを押してください。

利用規約の同意画面が正しく表示されない場合には、ブラウザの変更ボタンをクリックして動作の確認をお願いします。またはインターネット一時ファイルの削除を実行してください。(インターネット一時ファイルの削除手順についてはコチラ)。



スカラPS

<https://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/>





用語説明

奨学金貸与・返還シミュレーションとは



貸与奨学生のしおり
(ダイジェスト版) 2ページ
(全体版) 88ページ

貸与月額等の条件を設定することで、返還総額や返還回数、毎月の返還額などについて試算を行うことができるシステムです。

登録の手続きは
必要ありません



奨学金貸与・返還シミュレーション

<https://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation/>





用語説明

「返還誓約書」とは



貸与奨学生のしおり

(ダイジェスト版) 2ページ、4～12ページ

(全体版) 1ページ、20～44ページ

あなたと日本学生支援機構との間の
奨学金の貸し借りを確認する契約書です。

「返還誓約書」に不備がある場合、
奨学金の振込みは、止まります！

「返還誓約書」を提出しない場合、
奨学金を借りることはできません。
採用を取り消します。

返還誓約書の作成方法

返還誓約書の作成方法

①

【第二種機関保証】

返 還 誓 約 書

(兼個人信用情報の取扱いに関する同意書)

この誓約書は、
より期間
は必ず記入
してください

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿
私は、独立行政法人日本学生支援機構学費貸与金を下記のとおり借用了いたします。
つきましては、独立行政法人日本学生支援機構貸与学費規程その他の該規程によって
確認した事項を遵守し、「奨学生のおしり」記載の取扱いにしたい旨返還することを誓約し
ます。独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という）に提出した個人番号について
は、裏面記載の範囲で機構が個人番号を利用することに同意します。また、裏面の「個人信用
情報同意事項」を承認し、同意します。なお、私が借用了した学費貸与金は、
第二種奨学金（利息付）であり、機関保証を選択しました。

④

②

令和 XX 年 4 月 1 日

借入金額 ￥ 2 4 0 0 0 0 0

③

奨学生番号 8XX-XX-XXXXXX CD 7 001 [送付機関] 予約
在学校 日本学生支援大学
住所 〒 135 - 8630
東京都江東区青海 2-2-1
奨学生本人 電話番号 03-XXXX-1111 携帯電話番号 090-XXXX-6666
氏名 (奨学 太郎) フリガナ キョウ シロウ
署名
昭和 XX 年 11 月 11 日生 性別 男

⑤

貸付期間	貸付月数	貸付月額	貸付月額	貸付総額
20XX年 4月～ 20XX年 3月	48 月	50000 円	2400000 円	
年 月～ 年 月	月 月	円 円	円 円	円 円

⑥

返済期日	返済回数	初回返済金	割賦金	最終返済金
毎月27日	180 回	16769 円	16769 円	16917 円
1 回目返済時の特支払い額(利子込み)			3018568 円	
月賦返済時の特支払い額(利子込み)	180 回	8384 円	8384 円	8516 円
月賦返済時の特支払い額(利子込み)	30 回	50355 円	50355 円	50361 円
併用返済時の特支払い額(利子込み)			3019908 円	

選択された利率の算定方法：利率固定方式
注：利率が未確定なため、返還の条件（目安）は、上限利率の年3.0%（増額貸付部分は、年3.2%）で仮計算しています。確定した年利率で計算した内容については、貸付終了時に送付される通知でご確認ください。

【参考】令和4年11月貸付終了者に実際に適用された利率（年0.805%、増額貸付部分は年0.805%）で計算した場合の返還額（※この利率があなたに適用されるわけではありません）

返済期日	返済回数	初回返済金	割賦金	最終返済金
月賦 毎月27日	180 回	13989 円	13989 円	14161 円
月賦返済時の特支払い額(利子込み)			2518192 円	
月賦返済時の特支払い額(利子込み)	180 回	6994 円	6994 円	7121 円
併用返済時の特支払い額(利子込み)	30 回	41960 円	41960 円	42006 円
併用返済時の特支払い額(利子込み)			2518473 円	

※返済方法は、年次返済方式と月次返済方式の2種類があります。月次返済方式は、月次返済額が一定額で返済し、返済完了後に通知されるものとします。返済額が変動する場合は、「奨学生のおしり」に記載してあります。
※併付奨学金の返還対象者が第一種奨学金の貸付を受けた際の借入金については、裏面【返還誓約書記載事項について】の32参照してください。
※本人保証とは返済保証人及び保証人による保証を受ける制度。機関保証とは保証機関による保証を受ける制度をいいます。
※機構は、奨学金の貸付を受けた者が奨学生として身分を失った際には、「借入金表」上で貸付した奨学金の返還を奨学生に請求する権利を有するものとします。
※ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸付業務（送還業務を含む）のために利用されます。
この利用目的の適正な範囲において、当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む）が、貸付、企業連携及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その後の適正な利用はできません。機関保証人等については、機構が預貯する個人情報の3%保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び関係団体等から奨学金の返還滞り等の防止のために照会があった場合は、適正な範囲においてあなたの情報が提供されます。

【提出用】
※第一種奨学金において、下には「定期返済方式（貸付額に定めた返済回数で貸出された割賦金で返済する方式）」又は「月次返済方式（機構の所定に準拠して貸出した割賦金で返済する方式）」のうちから、あなたが選択した返済方式が印字されています。
※第二種奨学金においては、全て貸付額に定めた返済回数で貸出された割賦金で返済する方式による返済となります。

本人以外の連絡先
住所 〒 153 - 8503
東京都目黒区駒場 4-5-29
電話番号 03-XXXX-3333 携帯電話番号 090-XXXX-7777
氏名 (機構 次郎) フリガナ キョウ シロウ 印不要
署名
籍別 おじ 昭和 XX 年 10 月 1 日生 ***
勤務先 電話番号 *****
*****記入不要*****
住所 〒 -

電話番号 ***** 携帯電話番号 *****
氏名 ***** フリガナ *****
署名 *****
籍別 ***** 年 月 日生 ***
勤務先 電話番号 *****
住所 〒 -

電話番号 ***** 携帯電話番号 *****
氏名 ***** フリガナ *****
署名 *****
籍別 ***** 年 月 日生 ***
住所 〒 -

電話番号 ***** 携帯電話番号 *****
氏名 ***** フリガナ *****
署名 *****
籍別 ***** 年 月 日生 ***

送付書類
・「保証依頼書（兼保証委託契約書）」・保証料支払依頼書（コピー不可）



学校番号 104900
区分 00
学部学科 2006
学籍 No 123456

20XX/04/XX
000001(20XX/04)

※「借入金表」は、本人の選択した月額で貸付終了（予定）月まで借付した金額が表がれています。「借入金表」は貸付中の本人からの提出等により、増減する場合があります。

返還誓約書の作成方法

返還の条件	返還期日		返還回数	初回割賦金	割賦金	最終割賦金
	✓ 月賦返還 1	毎月27日	180回	16769円	16769円	16917円
	月賦返還選択時の総支払い額(利子込み)					3018568円
✓ 併用返還 2	月賦分 毎月27日	180回	8384円	8384円	8516円	
	半年賦分 毎年1・7月の27日	30回	50355円	50355円	50361円	
	併用返還選択時の総支払い額(利子込み)					3019908円

選択された利率の算定方法：利率固定方式

注：利率が未確定なため、返還の条件（目安）は、上限利率の年3.0%（増額貸与部分は、年3.2%）で仮計算しています。確定した年利率で計算した内容については、貸与終了時に送付される通知でご確認ください。

[参考] 令和4年11月貸与終了者に実際に適用された利率（年0.605%、増額貸与部分は年0.805%）で計算した場合の返還例（※この利率があなたに適用されるわけではありません）

	返還期日	返還回数	初回割賦金	割賦金	最終割賦金
月賦返還	毎月27日	180回	13989円	13989円	14161円
	月賦返還選択時の総支払い額(利子込み)				2518192円
併用返還	月賦分 毎月27日	180回	6994円	6994円	7121円
	半年賦分 毎年1・7月の27日	30回	41980円	41980円	42006円
	併用返還選択時の総支払い額(利子込み)				2518473円

1. 返還誓約書の種類

4種類あります。

「貸与奨学生のしおり（ダイジェスト版）」、「貸与奨学生のしおり」（日本学生支援機構ホームページ掲載）の該当ページを確認し、作成してください。

返還誓約書の種類	「貸与奨学生のしおり（ダイジェスト版）」のページ	「貸与奨学生のしおり」のページ（日本学生支援機構ホームページ掲載）
第一種奨学金 機関保証	4～5ページ	32～33ページ
第二種奨学金 機関保証	—	34～35ページ
第一種奨学金 人的保証	—	36～37ページ
第二種奨学金 人的保証	6～7ページ	38～39ページ

2. 保証制度の種類

①機関保証

一定の保証料を支払うことで、保証機関から保証を受けます。

保証料は、毎月の奨学金から差し引かれます。

保証料を支払っているから返還しなくて構わないというわけではありません。

人的保証への変更はできません。

②人的保証

連帯保証人と保証人の両方を選任して保証を受けます。

事情が変わるなどして、連帯保証人や保証人を選任することができなくなったときは、すぐに学校に相談してください。



用語説明

- 「連帯保証人」とは、奨学金の返還について本人と同等の責任を負います。
- 「保証人」とは、あなたや連帯保証人が返還できなくなったとき、あなたに代わって返還する人です。

※保証人には、連帯保証人には認められていない「分別の利益」（保証人の返還すべき金額が、本人が返還すべき返還未済額の2分の1となること。）のほか、「検索の抗弁権」や「催告の抗弁権」が認められています。

① 連帯保証人の選任条件（人的保証選択者）

原則として**父母**のどちらか

奨学生が未成年者の場合は親権者（または未成年後見人）

- 未成年・学生等の保証能力がない人は認められません。
- あなたの配偶者（婚約者を含む）は認められません。
- 債務整理中（破産等）の人は認められません。
- 貸与終了時に、あなたが満45歳を超える場合は、連帯保証人はその時点で60歳未満でなければいけません。

② 保証人の選任条件（人的保証選択者）

原則として本人および連帯保証人と**別生計**で

父母を除いた**65歳未満**の**4親等以内**である成年親族

- 未成年・学生等の保証能力がない人は認められません。
- あなたの配偶者（婚約者を含む）及び連帯保証人の配偶者（婚約者を含む）は認められません。
- 債務整理中（破産等）の人は認められません。
- 奨学金申込時（予約採用の場合は進学届提出時）に保証人は65歳未満でなければいけません。
- 貸与終了時に、あなたが満45歳を超える場合は、保証人はその時点で60歳未満でなければいけません。

返還誓約書の作成方法

③ 連帯保証人・保証人の選任における注意点（人的保証選択者）

- 4親等以内の親族でない成人を連帯保証人または保証人に選任する場合
- 保証人に65歳以上の人を選任する場合

その方がⅠ～Ⅲのいずれかの条件をみたし、
「返還保証書」と「資産等に関する証明書類」を提出することが必要です。

Ⅰ 年間収入・所得で判定

- ・ 給与所得者 年間収入 **320** 万円以上 【証明書類：源泉徴収票、年金振込通知書 等】
- ・ 給与所得者以外 年間所得 **220** 万円以上 【証明書類：確定申告書控（受付印のあるもの。電子申告の場合は受信通知又は即時通知を添付） 等】

Ⅱ 資産（預貯金・不動産評価額 等）で判定

合計額が**借用金額**（返還誓約書に印字）以上（※保証人は借用金額の2分の1以上）

【証明書類：預貯金残高証明書等、固定資産評価証明書】

※固定資産評価証明書に、登記事項証明書（全部事項証明書）を併せて提出が必要。

ただし、固定資産評価証明書に所有者と持分割合（共有名義の場合）が明記されている場合は、提出不要。証明書の詳細は、返還保証書を参照。

Ⅲ 上記ⅠとⅡの組み合わせで判定

I + (II ÷ 1.6) で算出される金額が（給与所得者の場合） **320** 万円以上
（給与所得者以外の場合） **220** 万円以上

※年金は給与として扱います

※給与所得以外の場合で給与所得もあるときの判定基準は年間所得220万円です

3. 返還誓約書に添付する書類

- 第一種奨学金および第二種奨学金の両方を貸与（併用貸与）されている人は、それぞれの返還誓約書に書類の添付が必要です。

※連帯保証人・保証人の印鑑登録証明書（人的保証の場合）は原本を2部取得してください。

- 第一種奨学金と併せて入学時特別増額貸与奨学金の貸与を受けた人も、それぞれの返還誓約書に書類の添付が必要です。

※連帯保証人・保証人の印鑑登録証明書（人的保証の場合）は原本を2部取得してください。

① 機関保証制度を選択した人

機関保証制度を選択した人が、返還誓約書に添付する書類（1点）

必 要 書 類

保証依頼書（兼保証委託契約書）・保証料支払依頼書【機構・協会用】
※未成年者は併せて親権者（後見人）同意書【機構・協会用】

保証依頼書の記入の仕方については、以下の資料を参照してください。

	「貸与奨学生のしおり（ダイジェスト版）」のページ	「貸与奨学生のしおり」のページ
保証依頼書 【機関保証選択者のみ】	9ページ	30～31ページ

② 人的保証制度を選択した人

人的保証制度を選択した人が、返還誓約書に添付する書類（4点）

	必要書類
1	連帯保証人の印鑑登録証明書（コピー不可）
2	連帯保証人の収入に関する証明書類（コピー可、直近の1年間の収入が分かるもの）
3	保証人の印鑑登録証明書（コピー不可）
4	奨学生本人の住民票（マイナンバー未提出者のみ・コピー不可）

マイナンバーの記載がないものを提出してください。

※ 海外赴任などで一時的に国外居住となり、印鑑登録証明書や「収入に関する証明書類」が取得できない場合は、奨学金担当窓口にご相談してください。

返還誓約書の作成方法

連帯保証人の「収入に関する証明書類（直近の1年間の収入が分かるもの）」は、「貸与奨学生のしおり」「貸与奨学生のしおり（ダイジェスト版）」を確認し、次のいずれかを提出してください。（コピー可）

収入の状態・状況	証明書類	発行所
給与所得または給与所得以外	所得証明書	市区町村の役場
給与所得（給与・賃金・役員報酬等）	源泉徴収票	勤務先
給与所得以外（自営業等）	確定申告書（控）「税務署の受付印があるもの」※電子申告を行った場合は「確定申告書」に「受付結果（受信通知：「メール詳細」画面）」または「即時通知」を添付	税務署
確定申告書（控）の提出ができない場合	納税証明書（その2）	税務署
年金（恩給・老齢年金・遺族年金等）	年金振込通知書 又は 年金額改定通知書	日本年金機構等
前年途中・当年に就職した場合	年収見込証明書	勤務先
生活保護受給者	保護決定（変更）通知	福祉事務所
上記の書類が提出できない場合	課税証明書、非課税証明書	市区町村の役場

4. 記入時の注意点

➤ 署名について

- 黒または青のボールペン（消せるボールペン使用不可）で記入すること。
- 他の者と同一の筆跡は認められません。各自が署名をすること。
- なぞり書き（重ね書き）は不可。
- 書き誤った部分を削る、修正液を使う、上から紙を貼るなどによる訂正は不可。



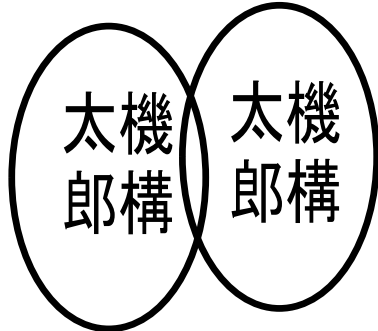

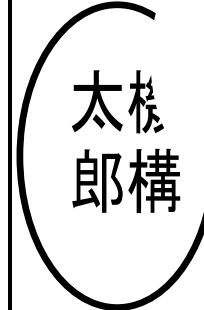

➤ 押印について（連帯保証人・保証人のみ）

- 実印（印鑑登録証明書と同じ印鑑）で押印すること。
- 朱肉を使用し押印すること。
- 欄内に押印すること。欄外の押印は認められません。

➤ 印字内容の訂正について

- 奨学金担当窓口にご相談してください。

➤ 正しい押印について

					
鮮明	薄い	重ね印	二重印	欠け印	滲み印
○	×	×	×	×	×

➤ 署名・押印等の訂正方法について

[例]

○連帯保証人・保証人欄

支援 次郎 機構 次郎	印 次機 郎構
---------------------------	---------------------------

○奨学生本人・親権者・本人以外の連絡先欄

機構 太郎 奨学 太郎	印不要 * * *
---------------------------	--------------

- ※ 修正テープ、修正液の使用はできません。
- ※ 印字内容の訂正が必要なときは、所定の用紙を取りに来てください。
- ※ 姓または名が同じでも、署名の訂正は必ず全て訂正してください。
- ※ 連帯保証人・保証人欄は訂正・変更した人の印を二重線の上に押してください。

「返還誓約書」提出前のチェックリスト

- 署名・記入漏れはないか
 - 黒又は青のボールペンで記入していますか（消せるボールペン使用不可）
 - 「奨学生本人欄」はあなたが署名しましたか
 - [人的保証の場合]連帯保証人・保証人の署名は、それぞれに署名してもらいましたか（同一筆跡不可）
 - [機関保証の場合]連絡先の者の署名は、その人に署名してもらいましたか（同一筆跡不可）
 - あなたが未成年者の場合、親権者（後見人）全員の署名（それぞれの人署名）はありますか（同一筆跡不可）
 - 希望する割賦方法にレ点がありますか **※返還誓約書提出後、割賦方法の変更は原則できません。**
 - 押印漏れ・印相違はないか
 - [人的保証の場合]連帯保証人・保証人必要な全員の押印はありますか
 - [人的保証の場合]連帯保証人・保証人は実印で押印していますか（印鑑登録証明書と照合）
 - [人的保証の場合]朱肉で鮮明に押印していますか
 - 訂正方法は適切か
 - 署名に訂正があった場合、二重線で削除した署名の直近の余白に正しい署名はありますか
 - 連帯保証人・保証人の署名を訂正する場合、削除の二重線の上に訂正印としてそれぞれの実印が押印されていますか
 - 書き誤った部分を削ったり、上から紙を貼ったり、修正液を使ったりしていませんか
 - 添付書類はそろっているか
 - [人的保証の場合]連帯保証人の印鑑登録証明書・収入に関する証明書類はありますか
 - [人的保証の場合]保証人の印鑑登録証明書はありますか
 - [人的保証の場合]印鑑登録証明書に記載の住所と「返還誓約書」連帯保証人・保証人欄の住所は同じですか
 - [人的保証の場合]連帯保証人・保証人が4親等以内の親族でない場合、又は保証人が65歳以上の方の場合、返還保証書・資産等に関する証明書類はありますか
- <注意> 連帯保証人と保証人の印鑑登録証明書は必ず原本でなければなりません。
併用貸与者はそれぞれ原本を2部用意する必要があります。
コピーでよいのは収入に関する証明書類のみです。
必ず、マイナンバーの記載がないものを添付してください。**
- [機関保証の場合]保証依頼書はあるか
 - 黒又は青のボールペンで記入していますか（消せるボールペン不可）
 - 保証依頼書の申込日は、「返還誓約書」に印字された日付と同じ日付ですか
 - あなたが未成年の場合、保証依頼書の親権者は、「返還誓約書」の親権者(1)・(2)欄と同人数・同一人物ですか
 - あなた・親権者（後見人）は各自が署名していますか（同一筆跡不可）

奨学生として採用されたみなさんへ



貸与奨学生のしおり
(ダイジェスト版) 1ページ
(全体版) 4~5ページ

- **毎月、奨学金の振込みを確認**するため、振込口座の通帳に記帳してください。
※振込日は、4月と5月を除き、毎月11日ですが、土曜・日曜・祝日の場合はその前営業日です。
- 奨学金に関する説明会には出席し、書類の**提出期限は守ってください**。
- **借りすぎに注意してください**。
- **休学・退学・留学等の場合は、奨学金担当窓口**に届け出てください。
- **第一種奨学金と給付奨学金を併せて利用する場合は、第一種奨学金の貸与月額が自動的に調整（減額又は増額）**されます。⇒「併給調整」

日本学生支援機構の奨学金は国が実施する**貸与型の奨学金**です。

卒業後は、**あなたが責任をもって返還**しなければいけません。

※ただし、返還が困難な人を対象として、救済制度が設けられています（Page.10）。

奨学生の自覚をもって、これから充実した学生生活を送ってください。